



奈津子の

# ウズベキスタン通信



アッサロムアライクン！小城は、冬本番に向けてますます寒くなっているところでしょうか？ウズベキスタンは、大陸性気候で朝晩の気温差が激しく、乾燥にひどく悩まされています。しかし、洗濯物が1時間で乾くという利点もあります。

今回は私の活動地『ブハラ』について紹介します。ブハラはウズベキスタンの中心に位置し、有名なシルクロードの経由地として栄えた歴史ある町です。特に、美しい歴史的建造物が並ぶ旧市街は1993年に世界遺産地区に登録されました。中でも高さ46mの薄い土色のカラーンミナレット（塔）は、チンギス



▲ウズベキスタンではペルシャ絨毯の生産が盛んです



▲カラーンミナレット（塔）

ハンによる侵略に耐えたことでブハラのシンボルとされ、大切に語り継がれています。先日は旧市街へ行き、絨毯屋を営む親子の店に飛び入り絨毯織り体験をさせていただきました。ここはシルクロードから伝わったペルシャ絨毯の生産が盛んに行われています。国民性なのかウズベキスタンの人は“話すのが大好き！”とよく感じます。ここでは2時間も世間話をしてしまいました。大きな深緑の瞳と内面から溢れる笑顔がとても印象的な親子で、今度は家にお邪魔してブハラ料理を作る約束をしました。こんな歴史と人の温かさに溢れた『ブハラ』で毎日活動に励んでいます！

## サガン鳥栖★情報！ vol.17

小城市はサガン鳥栖と交流宣言を締結しています。



### リーグ戦終了、今シーズンも 温かい応援ありがとうございました！



©2005 S.O.CO.,LTD.



明治安田生命J1リーグのホーム最終戦10月29日vs横浜F・マリノス。ベアスタは多くのサポーターでサガンブルーに染まりました。サポーターの皆さんの後押しを受けて序盤からペースを握り試合を進めます。前半22分、金民友選手が左足で放ったボールは、ネットに吸い込まれるようにゴール。今シーズンでクラブを去ることになったキャプテンの先制点にスタジアムは歓喜に包まれます。後半、富山貴光選手の2試合連続弾でリードを広げますが、2点を返され2対2の引き分け。試合終了後に、ホーム最終戦でのサポーターへ金民友選手の挨拶などセレモニーが行われました。「私の心はいつもサガン鳥栖とともにあります」。サガン鳥栖を愛する金民友選手のメッセージに多くの人が涙し、別れを惜しみました。

そして迎えたリーグ最終戦の11月3日vs甲府。ボールを支配しますが、相手の堅い守備に得点を奪えず試合は進みず。後半31分、三丸拓選手のクロスに反応した豊田陽平選手が先制点を奪います。このエースのゴールが決勝点となり1対0でリーグ最終戦を勝利で飾ることができました。

2016シーズンのJ1リーグ戦、全日程を終了。ホームでもアウェイでも温かい応援でチームを支え続けて頂き、ありがとうございました。今後もサガン鳥栖へ温かい応援をよろしくお願いします！（11月3日著）

詳細はサガン鳥栖公式HP (<http://www.sagan-tosu.net/>) をご覧ください。



【問合せ】株式会社サガン・ドリームス ☎0942・81・5290